

(1) 事業概要

(目的)

地域住民が抱える地域生活課題を受け止め、地域住民等や支援関係機関が協働し解決に向けて取組む人材育成を目的とした研修等や情報発信等を行い、堺市における地域共生社会の実現にむけて地域福祉の推進を図る。

(内容)

- ・地域生活課題に対応する人材育成のため、支援関係機関・専門職・地域住民等のスキルアップを目指す研修プログラムの開発及び実施
- ・地域生活課題に対応する人材育成のため、学習ニーズ及び人材育成ニーズの把握
- ・研修プログラムの企画・運営・実施に関わる人材育成
- ・堺市地域福祉研修情報ネット事業の実施 等

(2) 3つの研修体系の実施

3種類  
の研修  
体系

専門職向け研修

地域住民と専門職の  
協働研修

地域住民むけ研修

速報紹介

①内容  
地域を基盤としたソーシャルワークの諸機能についての理論・実践で構成。研修企画者が協働し、研修プログラムを企画・実施・評価。

②対象者  
地域包括支援センター、障害者基幹相談支援センター、社会貢献事業施設CSW、行政相談部署、社会福祉法人職員、社会福祉協議会（基幹型包括支援センター、CSW、生活支援コーディネーター等）等

①目的  
研修企画者が協働し、小学校区の地域住民（当事者を含む）の研修ニーズに基づき、研修を企画・実施・評価。

②対象者  
地域福祉の担い手である地域住民（民生委員、校区福祉委員、当事者団体（老人クラブ等）、その他小学校区内の福祉関係団体

(3) 堺市地域福祉研修情報ネット事業の実施

(目的)

堺市民や堺市内の福祉関係者等が受講できる福祉・介護に関する研究会や講座等をホームページ上で情報発信することによって、堺市に関係する研修実施団体が開催する福祉・介護研修の受講者増加及び受講率の向上を図るとともに、広く市民の福祉・介護に対する関心・理解を深め、福祉人材の育成に寄与すること。

ポータルサイトイメージ



速報 地域住民と専門職の協働研修の実施 (6月15日/7月10日)

「地域づくり“協働”研修—つながり方・協力の方法を学ぼう—」  
地域住民のだれもが、生きがいと役割をもって、自分らしく活躍できる「地域共生社会」をつくるため、北区第2地域包括支援センターの圏域において、地域住民と専門職がそれぞれの役割を発揮して、連携・協働し、これからの地域をどのように作っていくのかを、参加体験型研修として2日間にわたってモデル的に実施。

協働研修の5つの目標

- ①地域福祉のバックグラウンドを知る
- ②自分たちの地域資源を把握し、つながり方を探る
- ③自分や自分の組織の強みを把握する
- ④協働の作法を知る
- ⑤地域課題解決の連携・協働の具体案を作る



評価・検討  
各地域で実践